

外国人技能実習制度適正化講習会

「外国人技能実習制度をめぐる動向を学ぶ」



8月26日、前橋市・ホテル1-2-13前橋マリーキュリーにおいて、外国人技能実習制度適正化講習会を開催した。

講師に、外国人技能実習機構東京事務所長の吉谷真治氏を迎え、「外国人技能実習制度の適正運営について」をテーマに講演を行った。

なお、本講習会は、本会が独自に策定した「事業実施における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」に沿って設営や受付を行い、参加者の健康・安全を確保した上で開催した。



講師の吉谷氏

はじめに、吉谷氏は在留外国人数の推移について触れ、令和2年3月末時点で約293万人と、対前年比で7.4%増加していると説明。また、在留資格別では、技能実習による在留外国人数が約

41万人と、対前年比で25.2%増加する一方、特定技能については令和2年6月末で約6千人となっており、増加傾向にはあるものの、政府が当初受入想定していた4.7万人を大きく下回っていると指摘した。

次に、実習生の安全衛生対策について言及。労働災害事例が特に多い建設業と農業職種を対象に機構が作成した「安全衛生対策マニュアル」を紹介した。吉谷氏は、「マニュアルや知識は活用されてこそ意味のあるもの。監理団体や実習実施者においては、マニュアルを積極的に活用して実習生の安全を確保してもらいたい」とアドバイスした。さらに、コロナ禍における実習生の入国の遅れや実習を終えても帰国できないといった状況の対応策についても助言した。

最後に、「監理団体の指導により、実習実施者が適正な技能実習を行うことは、社会にプラスの循環を生み出し、我が国の成長にもつながる。つまり『我が国の未来を担っている』とも言える。監理団体の担当者は、高い意識を持ちながら実習実施者と連携していただいたい」と締めくくった。



この研修は、これからの成長が期待される若手社員を対象に、自らの能力を高め、「自律型人材」へと成長するために、社会人としての自覚の喚起と第一線で活躍できる能力を身に付けることを目的に平成11年より開催している。



フェイスシールドをしながら講義する
講師の雨宮氏

9月2日、前橋市・前橋商工会議所会館において、「若手社員リフレッシュ研修」を開催した。講師は、経営教育コンサルタントの雨宮利春氏。
なお、本研修会は、マスク着用、アルコール消毒液の利用の徹底、フェイスシールド、パーティションなどを適宜活用するなど十分な新型コロナウイルス感染防止対策をとり実施した。

研修では、「社会人としての自覚と責任」、「効率的な仕事の進め方」、「報・連・相」、「ペンディングのコントロール」、「エチケット・



パーティションを設置しグループワーク



熱心に受講する参加者



代表者に修了証書を授与

「マナー」、「職場の人間関係」、「正しく主張するための技法」などについて、グループワークを織り交ぜながら実習を行った。
参加者からは、「コロナ対策が十分とられており、研修も理解しやすく満足した」、「とても分かりやすかった。後輩にも参加してもらいたい」、「同世代との交流、意見交換の場としても良い経験になった」、「自分の意識が変わった。今回の研修内容を活かすことができよう努力していきたい」といった感想が寄せられた。
最後に、本会小林専務理事より、受講者の代表者に研修会の修了証書を授与し、研修を閉講した。



「群馬で就職！合同企業説明会」



ソーシャルディスタンスを保ちつつ
説明会開始を待つ多くの求職者



受付時入場者全員に検温を実施

9月10日・11日の両日、高崎市・Gメッセ群馬にて、「群馬で就職！合同企業説明会」を開催した。本説明会では、マスク着用、アルコール消毒を徹底、入場する際には検温と「健康状態申告書」の提出を依頼した。また、企業ブースにはビニールのパーテーション、机や椅子を拭く除菌シートを設置。

今回の説明会には、10日に38社、11日には33社が参加。新卒者等の求職者は10日に162名、11日には163名が来場し、企業が



PC・プロジェクタを利用し説明



企業ブースにはビニールのパーテーション
ブース間も十分な距離をとり設営

さらに、ブースにて一度に話を聞ける求職者を2名までに限定するなど新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で開催した。



パーテーションを設置した
カウンセリング(相談)コーナー

らの説明に対し、真剣な表情で聞き入っていた。

参加した企業からは、「コロナの影響で対面式で多くの学生と出会うチャンスがなく、採用活動が滞っており、今回の説明会に期待していた。こうした機会はないがたい」「大変良いイベントだった。これを採用につなげたい」などの感想が寄せられた。

また、同時開催にて設置した「カウンセリング(相談)コーナー」には、両日ともに「ぐんま新卒応援ハローワーク」より派遣された就職支援ナビゲーター2名が待機。職業興味検査ができるパソコンを活用するなど、相談者の適性に合ったアドバイスが行われた。